

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月19日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)
開催にあたり、委員による2年生現場実習報告会の参観を実施した
- 4 参加者

会 長	大橋 奈麻輝	大垣市社会福祉協議会 事務局長
副 会 長	加藤 千恵美	大垣市くすのき苑 所長
委 員	粥川 加奈子	大垣市議会議員
	虫賀 恭子	大垣商工会議所 女性会 会長
	上田 哲弘	日新連合自治会長
	野田 正興	大垣青年会議所 理事長
	大原 里美	西濃障がい者就業・生活支援センター 所長(欠席)
	森 裕子	本校 PTA会長
学 校 側	高木 靖	校長
	井川 匡	教頭
	井上 裕詞	事務長
	馬淵 陽子	部主事(欠席)
	宮脇 智之	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 令和7年度 自己評価・学校関係者評価について
 - (2) 専門コース生産品価格について(新規提案分)
 - 「彩りガーデン」 100円
 - 上記、適正な価格であると承認が得られた
 - (3) 2年生 現場実習報告会参観
 - (4) 意見交換
- 6 委員からの意見
 - 意見1: 卒業生の離職率はどうか。→卒業生の離職率は一般より低い。外部機関のサポートも手厚いと思われる。
 - 意見2: 県外への就職者も多いが、地域での就職の意義も生徒に伝えてほしい。挨拶や礼儀の定着を図れると良い。また、発表に出てきた企業や実習内容は本校の生徒にも向いている。工作中だけでなく通勤中の事故等の安全配慮も想定できると良い。
 - 意見3: 行政主導イベント等に学校として積極的に参加し、積極的に外部へのPRができるとよい。様々な状況下での命を守る訓練ができると良い。

- 意見4：企業が特別支援学校のことを分かっていない。特別支援学校の子は仕事ができないというイメージを払拭してほしい。実習ノートは有効的であり、実習中の教員の訪問も生徒への自信につながっている。防災訓練時に大きなサイレン音などが苦手な生徒もいるので、配慮をお願いしたい。
- 意見5：卒業生の仕事ぶりや礼儀は申し分ない。大垣市の企業へのアプローチができると良い。
- 意見6：生徒の発表が堂々としていた。コミュニケーションを課題とする生徒が多かったが、大人でも難しい。→学校では「自立活動」や日常的な交流機会の取組をしている。
- 意見7：実習期間が2週間あり、充実している。社会に出るとコミュニケーションは大切であるので、学校でも支援をお願いしたい。
- 意見8：実習先には地域団体の関連企業もあり、大変良い取組をしている。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、生徒・保護者の学校評価アンケートの結果を踏まえて令和7年度の本校の学校運営にかかる自己評価を行い、委員それぞれの視点から意見を得た。専門コースの生産物の価格については、参加した全委員より承認が得られた。

また、2年生現場実習報告会における生徒の発表や質疑応答の様子への参観により、本校生徒の進路に関する取組の状況について具体的に理解いただき、評価を得られた。

学校運営協議会委員の意見を踏まえ、自立活動等におけるコミュニケーション力の向上をさらに充実させていきながら、進路指導において各企業への働きかけを進めていくこと、また様々な非常災害時を想定した訓練の継続が必要であることを確認した。

最後に、今年度の本会への参加・協力に対して各委員への謝意を伝え、引き続き、地域との連携や各種機関の協力を得るため、各委員の助力をいただくことを求め散会した。